

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	伊達市第2すまいる園		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校の建物を使用できている為広く、中高生にとってゆったりと過ごすことができ気持ちが安定している。	将来の自立に繋がるような活動や、環境を活かした活動の提供	個々に何が必要か(支援や身に付けるスキル)アセスメントし必要な支援をしていく。児童の興味のある活動を把握し提供する。
2	構造化された環境の中での支援。職員が常に側に居て支援するのではなく、自分で確認し理解をして行動できるような環境	物理的構造化、視覚情報の提供を主に考え支援している	職員間での情報共有を行い、児童が安心して過ごせる環境や関りの工夫を常に考えていく
3	個別面談の実施により保護者との連携がとりやすくなっている。また日々の送迎や連絡帳を通して困りごとや日頃の児童の様子を把握し易く、支援の手だてになっている。	連絡帳には、児童ができたことを主に記入し、不適切行動については柔らかく記入するようにしている。日々の療育内容を児童記録として記入し活用している。	複写式の連絡帳用紙に変更し、業務軽減にし児童との関りの時間を増やしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が市街地より離れているため、保護者の送迎の負担がある。また送迎に時間がかかる。	保護者の送迎負担の軽減	町内まで送迎実施し、送迎の負担を軽減している
2			
3			